

混合交通を観察する
DOCUMENT EYE

128

スクーター・原付および自転車利用者の服装と携帯電話の使用状況を観察する
スクーター！原付利用者290名中、長袖非着用者186名、長ズボン非着用者47名

WHY

スクーター・原付利用者、自転車利用者のマナーは？

スクーター・原付機付自転車(原付)は、操作が簡単なため通勤や買い物など広く利用されている。最近ではファッション性の強いスクーターが登場、そのせいかファッション先行で乗る人が増えて

おり、「バイクは初めて」という人が少なくない。

そこで気になるのがスクーター・原付利用者の服装やマナーだ。東京・池袋でスクーター・原付利用者の服装および携帯電話の使用状況を観察した。あわせて

自転車の携帯電話の使用状況についても観察した。

WATCHING

信号待ちでタバコに火をつけ、走行するスクーターも

観察は9月中旬の肌寒い夕方、JR池袋駅前の明治通りと都道が交差する「南池袋一丁目」交差点付近で行なった。

1時間に観察されたスクーター・原付(ビシネスタイプを含む)は、男性253名・女性37名の計290台だった。大半は50ccであったが、250ccクラスのスクーターも数多く見かけた。

観察の結果、別表のように軽装のライダーが非常に多かった。ヘルメットは観察された290名すべてが着用していたが、この中にはアゴひもをきちんと締めしていないライダー17名が含まれている。多くは若い年齢層だった。

長袖の上着を着用していたライダーは290名中104名で、残り3分の2のライダーは半袖シャツやTシャツを着用していた。

長ズボン着用者は290名中243



スクーター(軽二輪以上を含む)・原付利用者の服装(男性253名、女性37名中)

	男性(253名中)		女性(37名中)	
	着用	非着用	着用	非着用
ヘルメット	253	—	37	—
上着(長袖)	84	169	20	17
グローブ	50	203	8	29
長ズボン	216	37	27	10
履物(靴)	222	31	26	11

自転車、スクーター・原付の走行中の携帯電話の使用(自転車268名、スクーター・原付290名中)

	使用者	
	男性	女性
自転車	男性(181名中)	2
	女性(87名中)	2
スクーター・原付	男性(253名中)	1
	女性(37名中)	0

名、ショートパンツ姿のライダーが37名、スカートの女性も数名見かけた。

グローブ(手袋)は着用者はとても少なかった。素手で運転するライダーが圧倒的に多く、290名中グローブを着用していたのはわずか58名だった。また、履物ではかかとが露出するサンダル等が28名、中にはハイヒールや厚底靴の若い女性も見かけた。

この観察で二人乗りの軽二輪以上のスクーターを数多く見かけたが、ライダー、同乗者ともに軽装で素肌を露出していた。マナーについては、信号待ちでタバコに火をつけて吸い始めたライダーが5名、いずれも20代から40代とみられる男性だった。青信号でくわえタバコで発進したため、その先のホイ捨てが懸念された。

50ccのスクーターで移動中に携帯電話を使用していたライダーが1名いた。20歳前後とみられる男性でスーツを着用。携帯電話で会話をしながら交差点を左折、走行中はずっと片手運転であった。また、携帯電話で話してはいないものの、信号待ちの際にメールや受信のチェックをしていたライダーを数名見かけた。

一方、自転車利用者(歩道含む)で携帯電話で話しながら走行した人は、男性181名中2名、女性87名中2名の計4名だった。耳と肩で携帯電話を押さえるようにしながら交差点内を走行する女子高生や、歩道上で歩行者の間を蛇行する30代とみられる男性のほか、信号待ちで携帯電話の受信を確認後、ポケットにしまおうとして100cc以下も30km/hと走っていた10代と思われる女性を見かけた。

PROPOSE

「二輪車に乗る」という自覚を持って、安全な服装とマナーを

原付やスクーターは気軽に乗れる乗り物という意識から、ライダーの服装を



見ると安全に対する意識が低く、自転車利用時と同じ感覚で運転しているように思われた。スクーター・原付とはいえずビードは出るし、車道を通行するために横風や転倒など混合交通下で危険に遭遇することも多い。

スポーツバイクのライダーと較べて、スクーター・原付利用者は安全や自己防衛に対する認識が弱く、「二輪車に乗る」という自覚が足りない印象を受けた。スクーターや原付に乗る時は、長袖・長ズボン・ヘルメット・グローブ・くるぶしが隠れるシューズなど肌を露出しない服装を心掛けることで、転倒時の被害を低減することができるだろう。今回の観察で目立った二人乗りだが、原付の二人乗りは当然禁止だが、スクーター(ただし80cc以上)の場合は、ライダーは同乗者に対して安全な服装について適切なアドバイスをすることが望まれる。さらに、走行時の携帯電話の使用や喫煙は脇見運転や漫然運転による事故を引き起こしかねない。周囲の歩行者やライダー、ドライバーにとっても非常に危険である。誰もが安全に走行するために決まっていかなければならないようにしてほしい。

月刊「ザ・セーフティジャパン」ホームページ開設!



日頃から「S」をご愛読いただきましてありがとうございます。10月より「S」(セーフティジャパン)のホームページが開設しました。最新号やバックナンバー、定期購読のご案内がご覧いただけます(毎月更新予定)。詳しくは下記アドレスまで。

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>